

非核三原則の堅持を求める意見書について

上記の議案を提出する。

令和 8 年 1 月 26 日

提出者	安芸高田市議会議員	山本	数博
賛成者	安芸高田市議会議員	金行	哲昭
賛成者	安芸高田市議会議員	穴戸	邦夫
賛成者	安芸高田市議会議員	山根	温子
賛成者	安芸高田市議会議員	新田	和明

非核三原則の堅持を求める意見書について

別紙のとおり

非核三原則の堅持を求める意見書

非核三原則は、1967年に当時の佐藤栄作首相が国会で表明し、1971年に衆議院においてこの原則に言及した決議が可決されて以来、国是として位置付けられ、歴代内閣もこれを堅持してきました。

しかしながら、今日、安全保障関連三文書の改定に向けた議論が与党内で開始されており、これに伴い非核三原則の見直しを懸念する声が上がっています。

核兵器を取り巻く国際情勢は一層厳しさを増していますが、こうした時だからこそ、非核三原則は我が国と地域の安定を築く基盤として、今後も確実に守られるべきであります。

80年前の広島と長崎にもたらされた惨禍は二度と繰り返してはならず、被爆の実相を後世に伝えつつ、非核三原則を堅持し、「核兵器のない世界」の実現に向けて努力を着実に積み重ねていくことが、唯一の戦争被爆国である我が国の使命でもあります。

よって、国会及び政府におかれては、核兵器のない平和な世界の実現を願う被爆地の思いをしっかりと受け止め、非核三原則を堅持されることを強く要請いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和8年1月26日

安芸高田市議会

内閣総理大臣 高市 早苗 様

<地方議会意見書提出先>

額賀 福志郎
衆議院議長

〒100-0014 千代田区永田町 1-7-1 衆議院内

関口 昌一
参議院議長

〒100-0014 千代田区永田町 1-7-1 参議院内

高市 早苗
内閣総理大臣

〒100-8914 千代田区永田町 1-6-1 内閣府内

茂木 敏充
外務大臣

〒100-8919 千代田区霞が関 2-2-1 外務省内